

2026年1月期 第2四半期

決算説明会資料

2025年9月16日

アセンテック株式会社

東証スタンダード市場 証券コード:3565

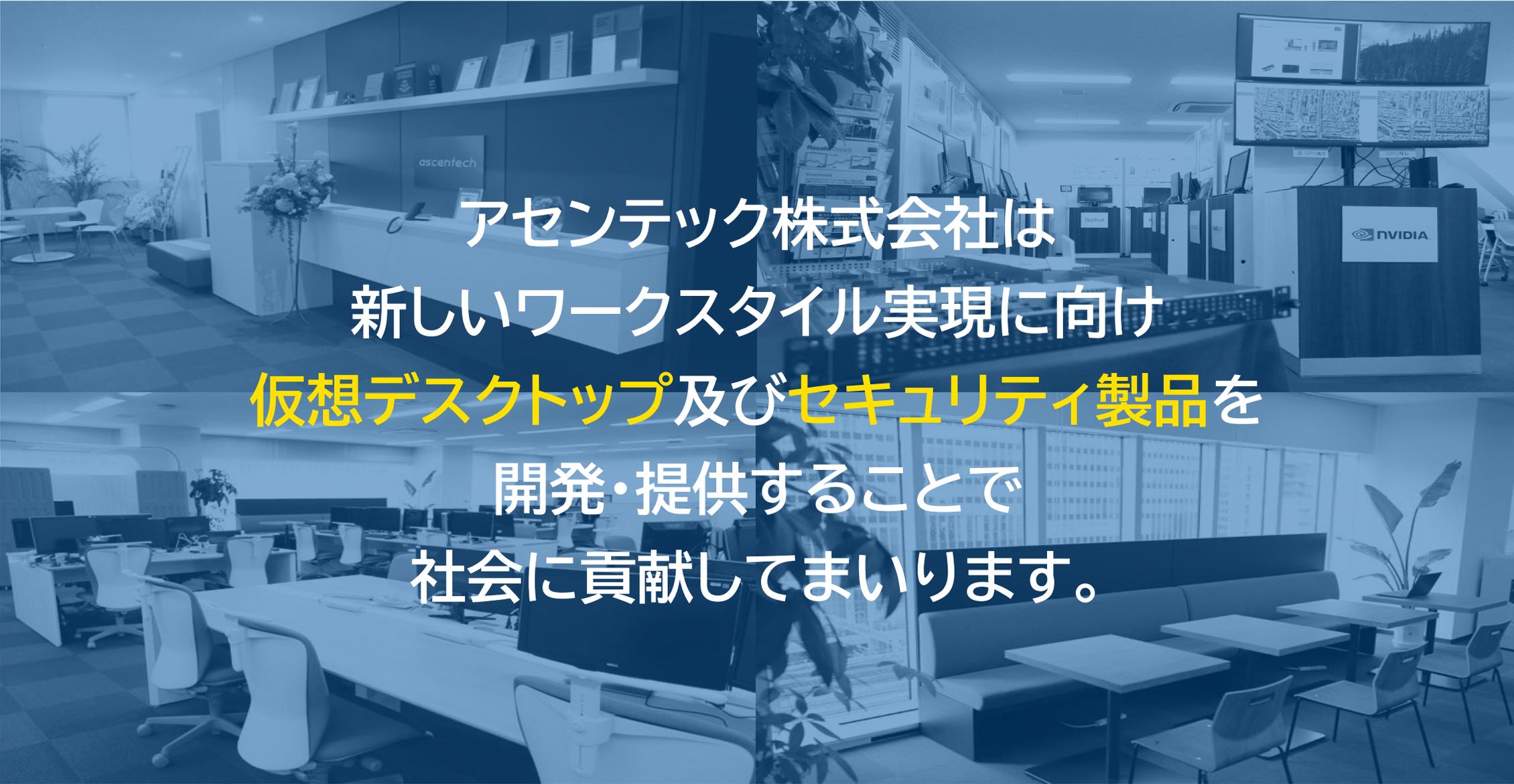
INDEX

- 01 会社紹介
- 02 2026年1月期 第2四半期 決算報告
- 03 2026年1月期 業績予想、配当予想の修正について
- 04 マーケティングハイライト
- 05 今後の成長に向けて

01

会社紹介

Corporate Overview



アセンテック株式会社は
新しいワークスタイル実現に向け
仮想デスクトップ及びセキュリティ製品を
開発・提供することで
社会に貢献してまいります。

会社概要

アセンテック株式会社 (Ascentech K.K.)

設立: 2009年2月2日
本社: 東京都千代田区神田練塀町3
社員数: 92名(単体)、165名(連結) (2025年1月31日時点)
役員: 取締役会長 佐藤 直浩
代表取締役社長 松浦 崇
取締役 萬歳 浩一郎 *
取締役 高谷 英一*
取締役 松田 英典 *
取締役 吉井 清 *
取締役 彭 雅秀 * *:社外取締役

上場市場: 東証スタンダード (証券コード:3565)
事業概要: VDI及びセキュリティに関する製品開発及び販売、システムインテグレーションサービスの提供を通し、コンサル、設計、構築、保守、運用をE2Eでサポート

グループ: 株式会社ワズコーポレーション
株式会社エスアイピー
※2025年9月(株)ワズコーポレーションと統合予定
株式会社ブレイクアウト
株式会社CXJ

経営理念と会社ロゴ

簡単、迅速、安全に！
お客様のビジネスワークスタイル変革に貢献する



ascent + technology
上昇、向上する 技術

各種機関認定



ISMS



EMS



SBT



JAPHIC



ストレスフリーカンパニー
2025

ストレスフリー
カンパニー

当社グループ企業と資本・業務提携先パートナー

グローバルテクノロジーパートナー



世界1億人が利用する **citrix** を傘下にもつグローバルカンパニー、当社へ資本参加

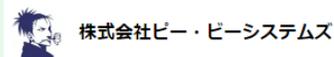


台湾デルタ社グループ企業、リモートPCアレイ製造、シンクライアント開発、当社資本参加



Windows アプリケーション配信サービス CloudPagingで急成長、当社資本参加

業務提携先 国内販売協業パートナー



西日本を中心にVDIシステム設計構築に強み、Citrixプラチナパートナー、当社資本参加



金融機関始め業務システム開発に強み、セキュアシステム開発環境のVDI化で業務提携



自治体における三層分離システム提案を推進、リモートPCアレイで事例獲得、業務提携

アセンテックグループ企業



アセンテック(株)

グループを管理・統括
VDI、セキュリティ、仮想
インフラ、クラウド関連製品・
サービスを開発、販売



(株)ブレイクアウト

VDI、SaaS向けエンドポ
イントOS「Resalio
Lynx」、「Saas Secure
Client」の開発



(株)CXJ

Citrix, NetScaler製品
の国内販売を推進。230社
のパートナーを通して、
約3000社のお客様を担当



(株)ワンズコーポレーション

製薬、医薬、金融、生保系
のお客様における、ITインフラ
構築・保守、アプリケーショ
ン開発で実績



(株)エスアイピー

中古車オークション情報シス
テムにおける、大規模アプリ
ケーション開発及びインフラ
構築において実績

02

2026年1月期 第2四半期 決算報告

Financial Statement

2026年1月期 第2四半期決算 エグゼクティブサマリー

1

大幅な増収/増益を達成

売上108.3億円(昨年対比88.4%増)、経常利益11.1億円(昨年対比135.6%増)を達成。グループ各社のビジネスは堅調に推移。

2

仮想デスクトップ事業領域好調

株式会社CXJが順調に立ち上がり、仮想デスクトップ事業領域は好調を維持。当事業領域の売上97.0億円(昨年対比110.4%増)となり大幅増。

3

「リモートPCアレイ」好調

「リモートPCアレイ」が地方自治体において、総務省の新ガイドラインに沿って導入が拡大。民需も好調を維持し、第2四半期出荷数158台(昨年対比62台増)。受注残も増え今後の売上に寄与。

4

通期予算上方修正

上期の好調を反映し、通期予算を、営業利益22.0億円、経常利益22.5億円に上方修正。利益面は中期経営計画を1年前倒しで達成の見込。

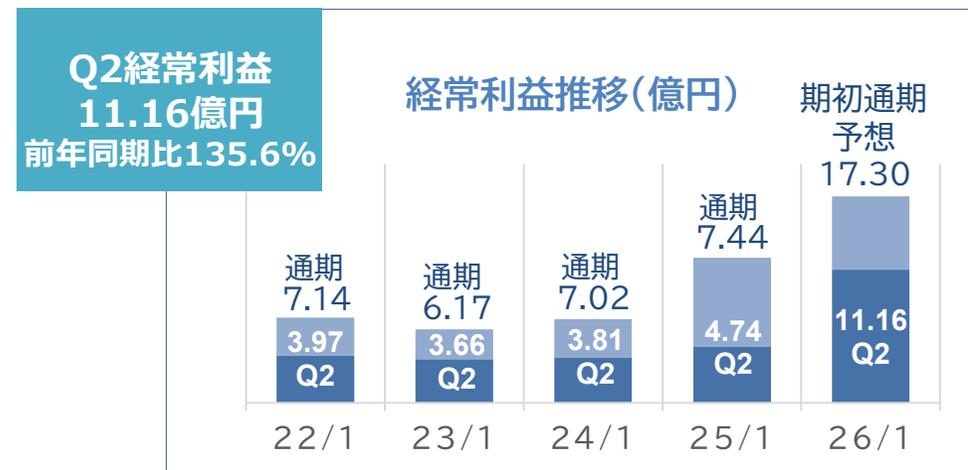
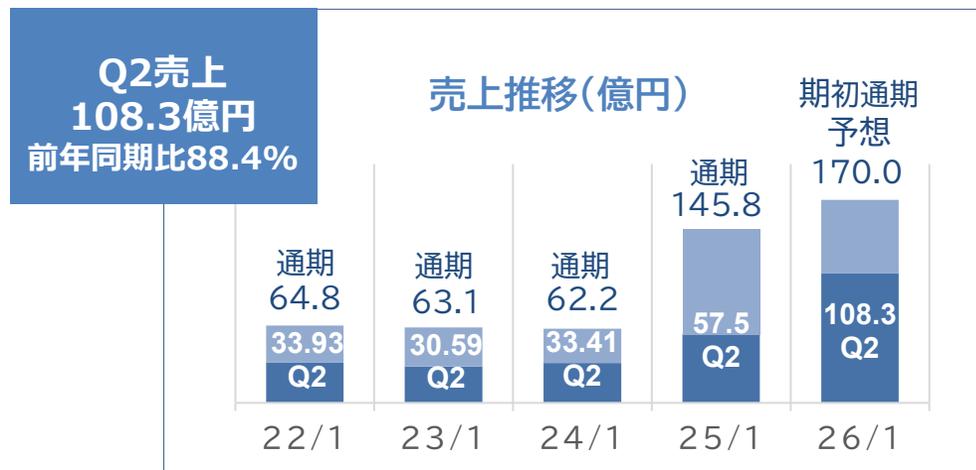
5

株主還元

株主還元をさらに訴求するため、2026年1月期の予想配当を20円→23円に増配予定。更なる成長に向けた戦略的投資とバランスを取りながら、株主還元の充実を図る方針を継続。

2026年1月期 第2四半期 売上・経常利益

売上は昨年対比88.4%増、経常利益は135.6%増を達成

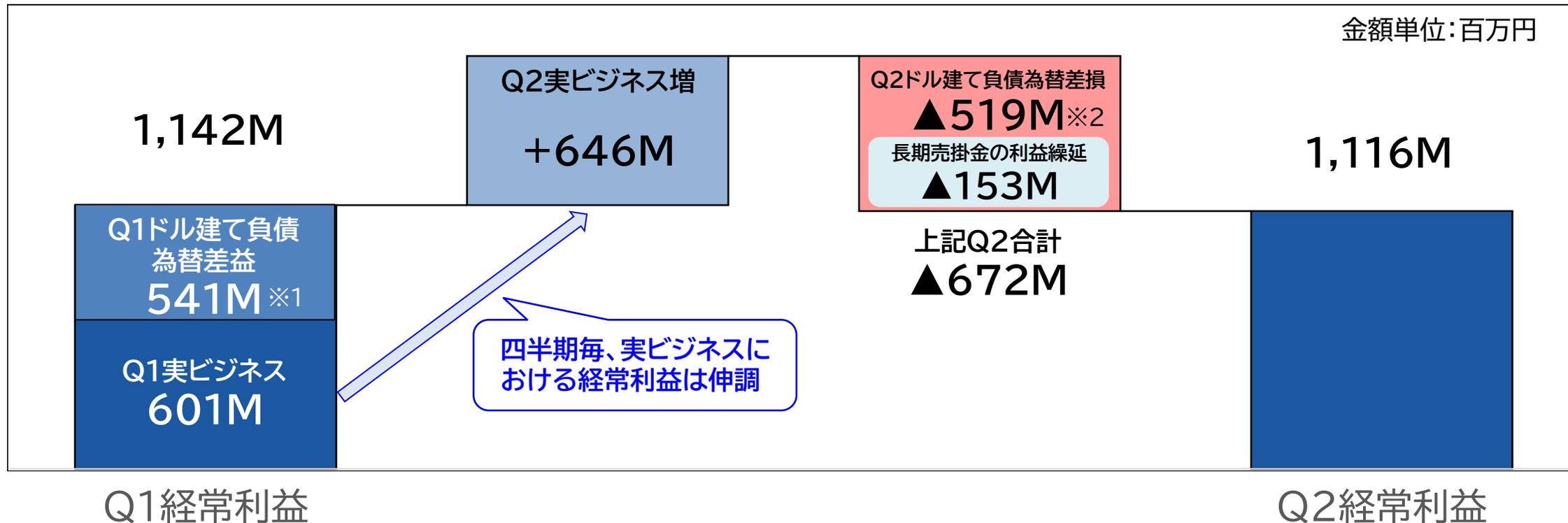


(百万円)	2025/1期 Q2実績参考	2026/1期 Q2実績	売上 構成比	参考 前年比	2026/1期 期初Q2予想	期初通期予想 進捗率
売上高	5,750	10,833 ※1,2	100%	88.4%	8,124	63.7%
営業利益	241	1,098 ※2	10.1%	355.8%	810	63.5%
経常利益	474	1,116 ※2	10.3%	135.6%	810	64.5%
当期純利益	325	773	7.1%	137.5%	556	65.0%
1株当たり 当期純利益(円)	24.53	54.22	-	121.0%	38.97	65.1%

※1:第2四半期において収益認識に関する会計基準に基づき、株式会社CXJの一部取引に係る売上高10,827百万円を代理人取引として、純額処理しています。

※2:長期売掛金について、会計基準に基づき、割引現在価値での評価を行い、売上高/営業利益/経常利益を153百万円減額処理しています。(将来へ繰延しています)

経常利益増減分析（前四半期比）



▶ 為替差損の影響

当社は、外国為替相場の変動に伴い、2026年1月期中間連結会計期間（2025年2月1日～2025年7月31日）において、為替差損15百万円を営業外費用として計上することとなりました。

これは、主に、Cloud Software Group, Inc.との戦略的パートナー契約に基づき計上した外貨建ての債務に対する四半期末時点での時価評価に伴う為替差損益（※1:Q1為替差益541M、※2:Q2為替差損:▲519M）や、従来からヘッジを目的として行っている為替予約の時価評価に伴う為替差損益などを反映したことによるものです。

米国 Cloud Software Group との戦略的事業提携に基づく 資産および負債計上の経緯

経緯

2024年9月25日	Cloud Software Group,Inc.(CSG社)と、第三者割当増資をともなう投資契約及び戦略的パートナー契約を締結
2024年10月25日	資本業務提携に伴いCSG社より新株式の発行に係る払込完了
2024年11月26日	株式会社CXJを設立 仮想デスクトップ関連製品である Citrix 及び NetScaler の日本国内における事業拡大に向け、営業、マーケティング、技術支援を担当
2025年2月17日	株式会社CXJ の事業開始予定日である 2025年3月3日において 連結貸借対照表に約120億円の資産および負債計上に関するお知らせ

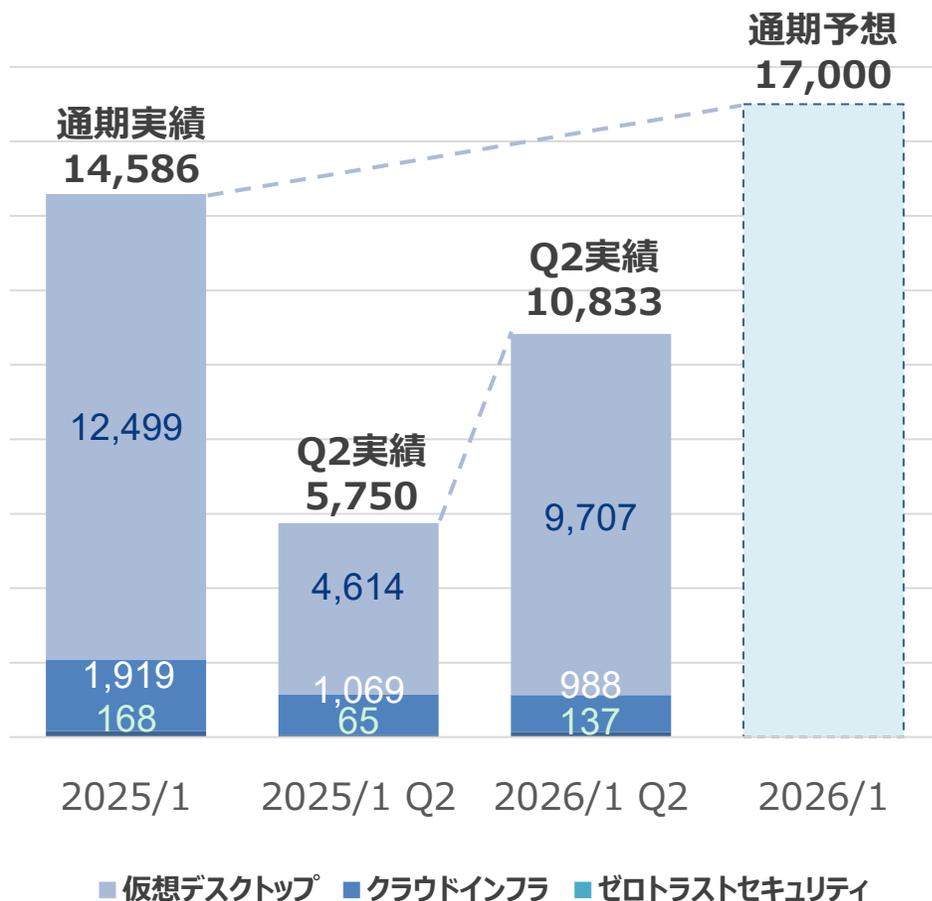
資産および負債計上に関する契約内容

- ◆ 日本国内における CSG 社の戦略的パートナーとして、国内企業向け Citrix 事業を担当し、得られる収益の対価として、販売期間の見込収益に合わせて、当該負債を四半期ごとに支払う内容となっています。
- ◆ 当該負債を支払スケジュールに応じて長期未払金または短期未払金に計上、ならびに、同額を当該資産として長期前払費用または短期前払費用に計上しております。
- ◆ 当該資産は、「得られる販売収益」や、「顧客への売上に対する原価」の性格を有しており、当該負債は当該資産の支払対価であります。

事業領域別売上推移

- ▶ 仮想デスクトップ事業領域が大幅増。
拡大するセキュリティ分野の事業強化のためゼロトラストセキュリティ事業領域を新設。

(百万円)



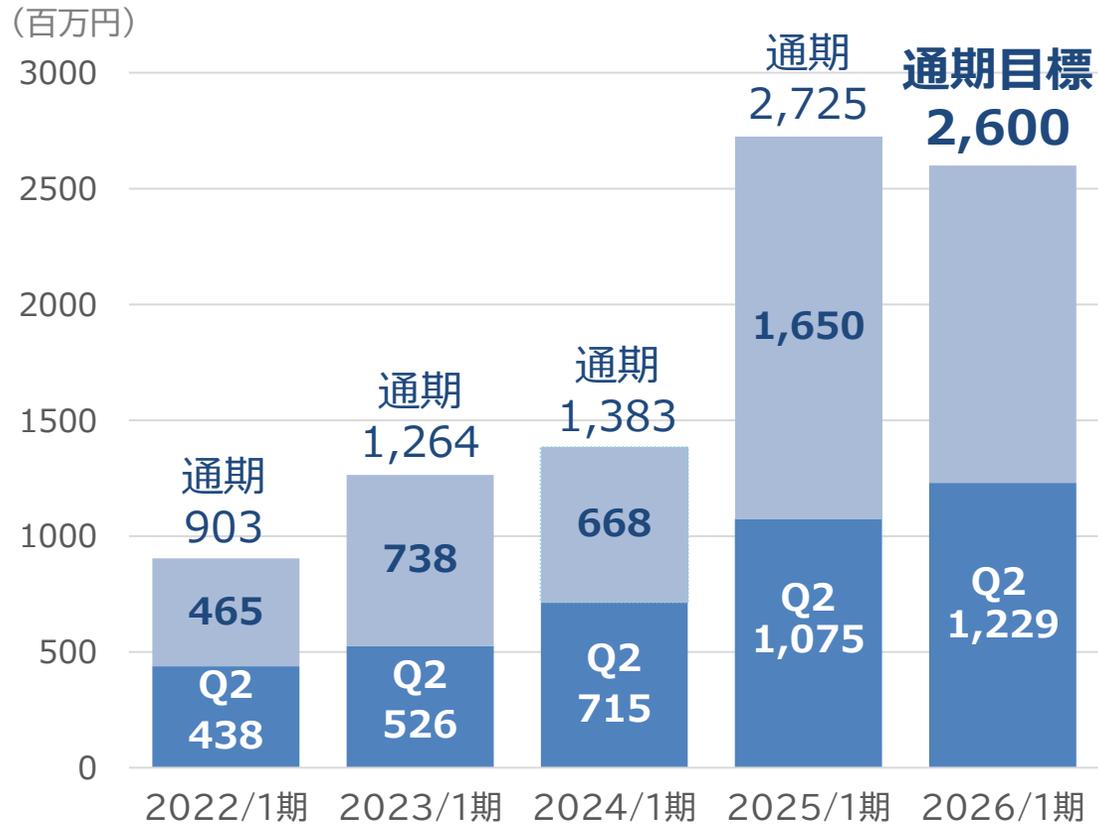
事業領域 / 製品・サービス	ストックビジネス	自社製品	自社サービス
■ 仮想デスクトップ			
仮想化ソフトウェア(Citrix、Vmware等)			
シンクライアント端末(Atrust、Dell等)			
Resalio Lynxシリーズ(+Resalio DaaS SS)	✓	✓	
プロフェッショナルサービス	✓		✓
Citrix Cloud (CSP)	✓		
■ クラウドインフラ			
リモートPCアレイ		✓	
サーバ(HPE、Dell、Lenovo等)			
フラッシュストレージ等(HPE-Nimble)			
ハイパーコンバージド製品(HPE、Dell、Nutanix)			
自営保守(リモートPCアレイ/Quantum等)	✓		✓
■ ゼロトラストセキュリティ			
SaaS Secure Client(SSC)	✓		✓
numecent、HYCU、CROWDSTRIKE			
Forcepoint、STA、THALES	✓		

※2026年1月期より、クラウドサービス事業領域は、仮想デスクトップ事業領域に含めています。

ストックビジネスは好調を維持

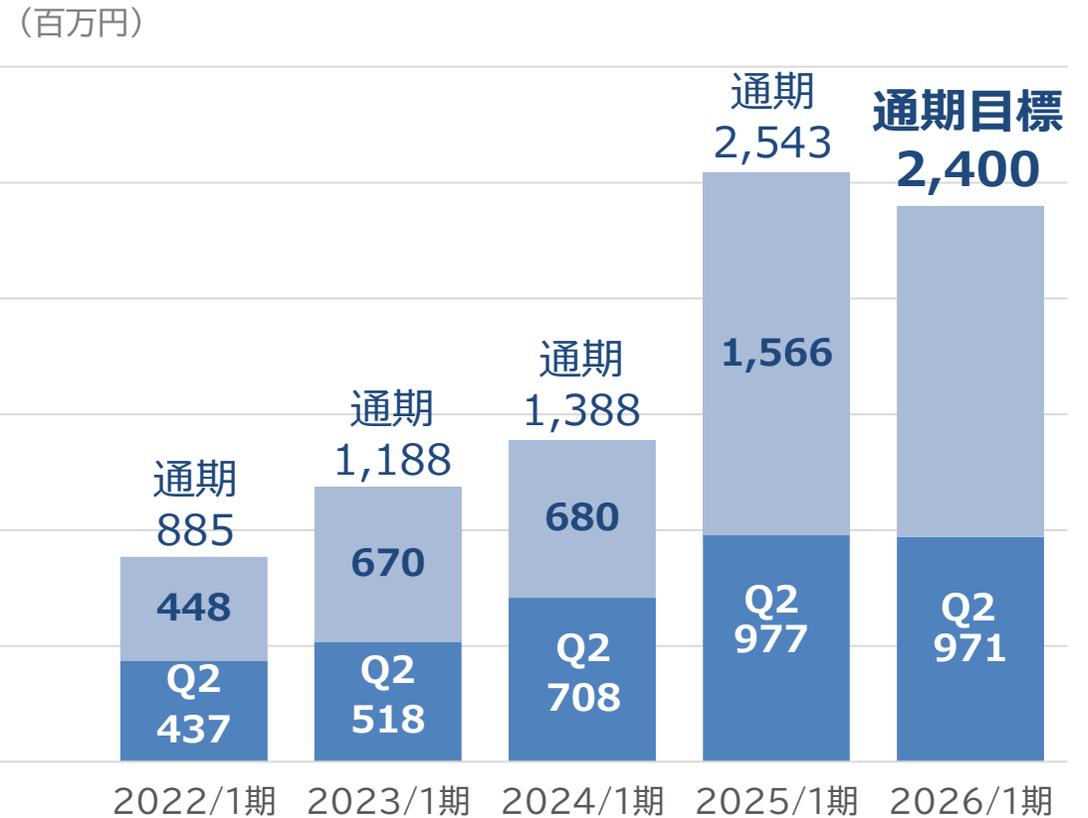
▶ ストック収入 受注ベース

(繰延等により将来売上計上されます)



▶ ストック収入 売上ベース

(その年度の売上)



13.7% 18.8% 22.3% 17.4% 9.0%

(ストック売上の総売上に占める割合)

03

2026年1月期

業績予想、配当予想の修正について

Revision of Financial Forecast

2026年1月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

- ▶ 好調な上半期に加え、下半期も仮想デスクトップ事業領域およびリモートPCアレイの導入が好調に推移するとの見込みから、通期業績予想を上方修正します。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
期初発表予想(A)	17,000	1,730	1,730	1,190	83.26
今回発表予想(B)	17,000	2,200	2,250	1,630	114.05
増減額(B-A)	—	470	520	440	—
増減率(%)	—	27.2%	30.1%	37.0%	—
ご参考 前期実績 (2025年1月期通期)	14,586	868	1,218	859	63.82

配当予想の修正

- ▶ 当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、財務状況、資金需要等を総合的に勘案し、戦略的投資として活用する内部留保とのバランスをとりながら、経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

この基本方針に合わせ、通期予算も上方修正することから、2026年1月期の期末配当予想を、20円から23円に増配する予定です。

1株当たりの配当金				
基準日	第2四半期末	期末	合計	配当性向
前回予想 (2025年8月20日発表)	0円00銭	20円00銭	20円00銭	24.0%
今回修正予想	0円00銭	23円00銭	23円00銭	20.2%
当期実績				
前期実績 (2025年1月期)	0円00銭	15円00銭	15円00銭	23.5%

04

マーケティングハイライト

Marketing Highlight

自治体向けプロモーション

1 自治体向け 専門誌掲載

総務省新ガイドラインに即した西都市の事例を専門誌に掲載し、全国の自治体に配布



2 地方のイベント へ積極出展

DIS ICT EXPO in札幌
地域×Tech九州
九州イノベーションWEEK

3 事例を公開し 横展開を図る

岡山市、西都市、
八潮市(パートナー様事例)
リモートPCアレイ事例公開



リモートPCアレイ 官公庁・地方自治体導入状況 (2025年7月現在)



今後の成長を支えるニューテクノロジーを市場に投入

自社製品開発投資

最新CPU及びリモートKVMを搭載
「リモートPCアレイ」新モデルを発表

VMware等不要で導入が加速

2025年3月11日

ニューテクノロジー提供

米大手セキュリティカンパニー
「Forcepoint社国内総代理店契約」

DLPリーダー製品の販売開始

2025年3月13日

ニューテクノロジー提供

HPE社 新ハイパーバイザー
「HVM導入支援サービス提供開始」
(当社オリジナルサービス)

VMwareからの移行を促進

2025年5月20日

ニューテクノロジー提供

パスワード・特権ID管理のリーダー
「KeeperSecurity社代理店契約」

ゼロトラストソリューションを強化

2025年6月25日

05

今後の成長に向けて

For Future Growth

今後の成長に向けて

▶ 中期経営計画を前倒し達成し、更なる成長へ

- ◆ 引き続き、透明性と健全なガバナンスを強化。
市場環境に柔軟、かつ迅速に対応しながら、**中期経営計画を確実にかつ早期に達成し、企業価値の更なる向上**を目指します。

▶ 成長が加速する新分野への挑戦

- ◆ 変化が著しく、拡大するセキュリティ分野に向けて、自社製品「**SaaS Secure Client**」を中心に、新たなセキュリティソリューションを加え、**ゼロトラストセキュリティ事業の強化**を図ります。
- ◆ 急激に拡大する**AI市場**への参入を新規に計画中。
新しいAI活用におけるセキュリティ強化に向け自社製品を企画し、将来の更なる成長につなげます。

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

A collage of images illustrating modern work and technology. On the left, a woman in a white lace top sits on a wicker chair with a laptop. In the center, a laptop screen displays a video conference with several participants. On the right, a person in a grey sweater works at a desk with a laptop, a white coffee cup, and a plate of food. The background features a window with a view of greenery.

Corporate Message

***Work Smarter with IT,
Live Better***

